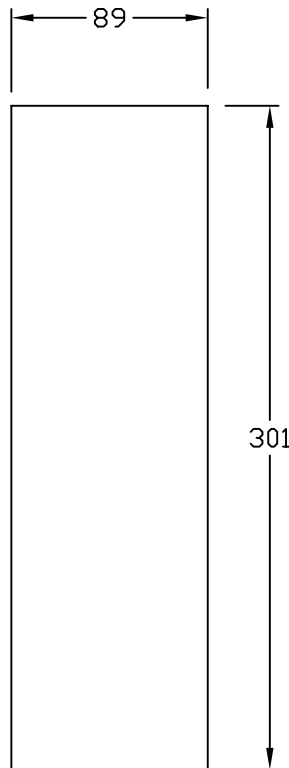
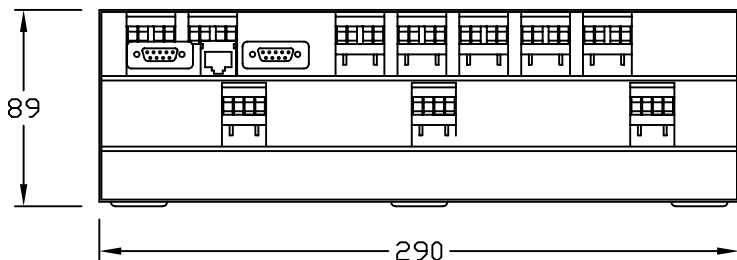


前面図



側面図



見上図

単位：mm

製品概要

ホームワークス8シリーズプロセッサは、ホームワークスシステムのセントラルプロセッサで、設定変更可能なリンクを4つ搭載しています。調光盤、ホームワークスキーパッド、ホームワークスマエストロ、ウォールボックスパワーモジュール、グラフィックアイ3500シリーズ等の各機器を接続し、統合制御できます。本器は、各調光機器のレベル・機能設定、年間タイマー、セキュリティモード、バケーションモード等、ホームワークスの全ての機能を搭載しています。また、停電時にも揮発性メモリーにより設定等は全て保存されます。

製品詳細


- リンク1 : 調光盤の接続に使用
- リンク2 : ホームワークスプロセッサ同士の接続に使用(最大16台)
- リンク3/7 : RS232Cの入力に使用(D-sub9ピン・オス)
- リンク4/5/6/8 : ホームワークスキーパッド/インターフェース、グラフィックアイ3500シリーズ、追加H48インターフェースのいずれか
- リンク9 : LAN/イーサネット入力(クロスオーバーケーブル使用)

特記事項

1. 本器にはホームワークスプロセッサやその他の精密機器が接続されますので、必ず独立した電源回路を使用して下さい。
2. トランスの2次側からルートロンホームワークス専用機器以外へ電源を供給しないで下さい。
3. 本製品は若干の熱を発生します。HWI-LV32カバー部の通気孔をふさがらないで下さい。また、本製品前面には305mm以上のスペースを空けて下さい。
4. 本器の設置は垂直として下さい(傾斜角度±7°以下)。
5. 本器は、45kg以上の重さに耐えられる壁に設置して下さい。
6. 一般屋内のみにて設置・使用して下さい。水気の多い場所、粉塵の多い場所には設置しないでください。
7. システム設定時等に本器を操作・確認しますので、手の届かないような場所には設置しないで下さい。
8. 仕様は予告無しに変更することがあります。

定格・仕様

種類	ホームワークス・8シリーズ・プロセッサ
定格電源	プロセッサ本体 : AC100V 2A リンク6 : DC15V 0.9A
最大消費電力	30VA
接続機器	ルートロンホームワークス専用機器のみ
使用周囲温度範囲	0℃~40℃ (一般室内取付専用)
使用周囲湿度範囲	相対湿度 90%以下 (無結露)
使用電線	別紙(ページ2)参照
重量	約4.1kg
取付け方法	壁掛式(専用エンクロージャ/HWI-LV32)
プロセッサキャビネット材質	鉄

 ルートロン アスカ株式会社			H8P5-H48-JA/H48インターフェース内蔵		REVISION	1.1	
			H8P5-JA/H48インターフェース無し		RELEASED	2008.9.1	
承認	(細谷)	検図	(北村)	作成	(谷崎)	PAGE	1/5
ホームワークス 8シリーズ プロセッサ 仕様書							

取付・接続方法

本器は、HWI-LV32エンクロージャに取り付けて使用します。
配線詳細は4ページを参照下さい。

1. 取付確認

HWI-LV32エンクロージャが頑丈な壁面にしっかり取り付けられていることを確認して下さい。

2. 本体の取付け

付属のねじを使用し、本器をHWI-LV32エンクロージャに取り付けます。なお、本器はLV32エンクロージャの中央上の位置になります(図1参照)。

3. アドレス設定(システム内に複数のプロセッサがある場合のみ)

DIPスイッチでプロセッサのアドレスを設定します。工場出荷時のアドレスは1です。詳細は図3を参照して下さい。

4. マエストロバスの接続(H8P5-H48-JAのみ)

ホームワークスソフトウェアでの設定に従い、ホームワークスマエストロを各マエストロバスに接続します。昭和電線社製LW221Sまたはベルデン社製87761を使用して下さい。一筆書き配線、分岐配線のいずれも使用できます。緑色については図5を参照して下さい。

5. H48インターフェースの接続(H8P5-H48-JAのみ)

H8P5-H48-JAは、リンク4に弊社工場にて内蔵のH48インターフェースが接続されています。さらにH48インターフェースを増設するには、ルートロンGRX-CBL-346Sを使用する一筆書き配線とし、リンク4の端子にて共挟みとして下さい。この際、2番端子は接続しないで下さい。なお、このリンクが15m以上になる場合、リンク始端・終端の端子3(MUX)と4(MUX)に終端抵抗(LT-1)を接続して下さい。緑色については図4を参照して下さい。

6. プロセッサリンクの接続(複数のプロセッサパネルがある場合のみ)

複数のプロセッサがある場合、ルートロン4芯ケーブルGRX-CBL-346Sを使用する一筆書き配線とし、リンク2の端子にて共挟みとして下さい。この際、2番端子は接続しないで下さい。なおリンク始端・終端の端子3(MUX)と4(MUX)に終端抵抗(LT-1)を接続して下さい。緑色については図4を参照して下さい。

7. GRXリンクの接続

グラフィックアイ3000シリーズ/ウォールボックスパワーモジュールを、ソフトウェアでの設定に従い、リンク5またはリンク6に接続します。ルートロン4芯ケーブルGRX-CBL-346Sを使用する一筆書き配線とし、端子上で共挟みとして下さい。この際、2番端子には接続しないで下さい。緑色については図4を参照して下さい。

8. キーボードリンクの接続

ホームワークスキーパッドを、ソフトウェアでの設定に従いリンク6に接続します。ルートロン4芯ケーブルGRX-CBL-346Sを使用して下さい。一筆書き配線、分岐配線のいずれも使用できます。リンク6にはプロセッサから各キーパッドへの電源供給がありますので、キーパッドは通常リンク6に接続するようにして下さい。但し、この電源の容量はキーパッド10台分ですので、それ以上のキーパッドを接続される際は別途DC15V外部電源が必要になります。緑色については図4を参照して下さい。

9. 調光盤リンクの接続

調光盤をソフトウェアでの接続に従いリンク1に接続します。ルートロン5芯ケーブルGRX-CBL-46Lを使用して下さい。この際、2番端子は接続しないで下さい。緑色については図6を参照して下さい。

10. 電源の接続

HWI-LV32エンクロージャから出ている電源ハーネス(青色/2線)を、プロセッサ用電源入力端子に接続します。また、エンクロージャに付属しているACアダプターをエンクロージャ内のコンセントに挿し、リンク6用電源入力端子に接続します。

11. ブレーカー電源を入れる

ブレーカーを上げて電源を投入して下さい。なお、エンクロージャに電源を供給しているブレーカーは、長期不在の際なども遮断しないようにして下さい。

12. リンク3/7/9の接続

RS-232制御機器を本器のリンク3または7に接続します。接続コネクタはD-sub9ピン/オスを使用して下さい。LAN/イーサネット接続の際は

最大接続可能台数早見表

プロセッサ

1システム内のプロセッサ最大連結可能台数	16台
----------------------	-----

ホームワークスマエストロ

1バスあたりのホームワークスマエストロ最大連結可能台数	8台(リモートは含まず)
H48インターフェースあたりのホームワークスマエストロ最大連結可能台数	48台(8台×6バス)
プロセッサ1台あたりのH48インターフェース最大接続可能台数	12台

キーパッド

1キーパッドリンクあたりのキーパッド最大連結可能台数	32台 (20台以上は別途DC電源要)
プロセッサ1台あたりのキーパッドリンク最大設置可能数	4リンク*1

グラフィックアイ

1リンクあたりのグラフィックアイコントロールユニット最大連結可能台数	8台
1リンクあたりのグラフィックアイ補助コントロール最大連結可能台数	15台
プロセッサ1台あたりのグラフィックアイリンク最大設置可能数	4リンク*1

※1 リンク4/5/6/8全てを使用した場合

各リンクの仕様早見表

リンクの種類	プロセッサ1台あたりの最大設置数	配線方法	使用推奨ケーブル	最大配線長	終端抵抗LT-1
プロセッサ	1	一筆書き	GRX-CBL-346S	150m*2	要
調光盤	1	一筆書き	GRX-CBL-346S	150m	要
グラフィックアイ	4	一筆書き	GRX-CBL-346S	150m*2	不要
キーパッド	4	一筆書き/分岐	GRX-CBL-346S	計1200m*3	不要
H48インターフェース	4	一筆書き	GRX-CBL-346S	300m	不要*5
RS232機器	2	1対1のみ	市販のRS232ケーブル	15m	不要
マエストロバス	72 (24×3)	一筆書き/分岐	昭和電線社製LW221S またはベルデン社製87761	計300m*4	不要

※2 ルートロンGRX-CBL-46L使用時は最大600mまで延長可。

※3 各分岐点からの最大延長は300m以内、リンクの合計総延長は1200m以内。

※4 各分岐点からの最大延長は150m以内、リンクの合計総延長は300m以内。

※5 総配線長が15mを超える場合はLT-1が必要



ルートロン アスカ株式会社

承認

細谷

検図

北村

作成

谷崎

H8P5-H48-JA
H8P5-JA

ホームワークス 8シリーズ プロセッサ
仕様一覧

REVISION	1.1
RELEASED	2008.9.1
PAGE	2/5

図1 HWI-LV32内収まり図

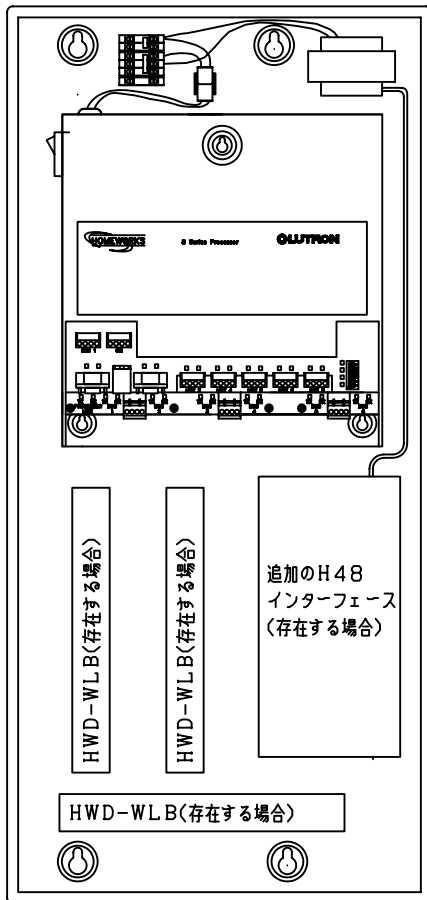
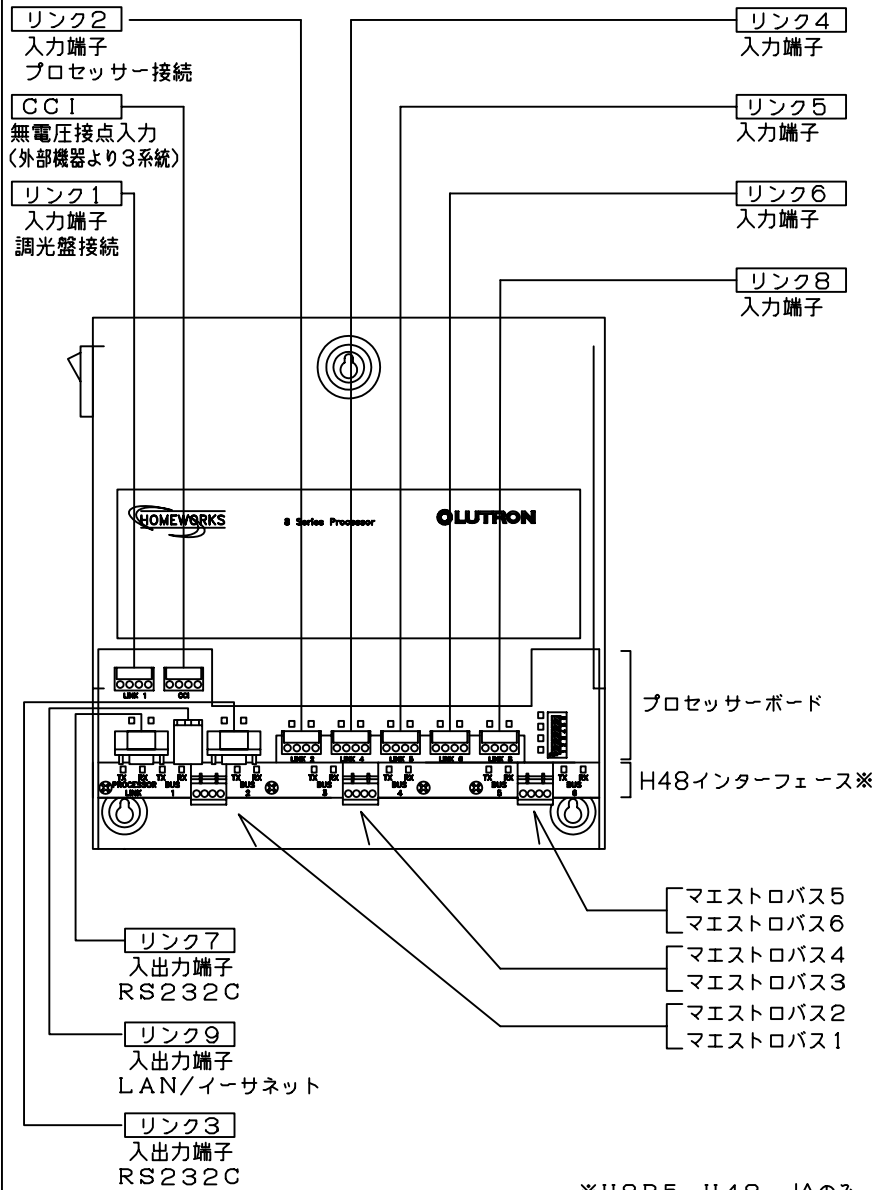


図2 各部名称

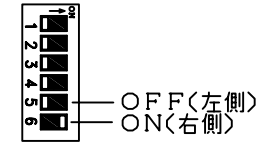


*H8P5-H48-JAのみ

図3 DIPスイッチ設定

DIPスイッチの3~6を使用してプロセッサにアドレスを割り当てます。1と2は工場出荷時に設定されていますので、通常変更する必要はありません。

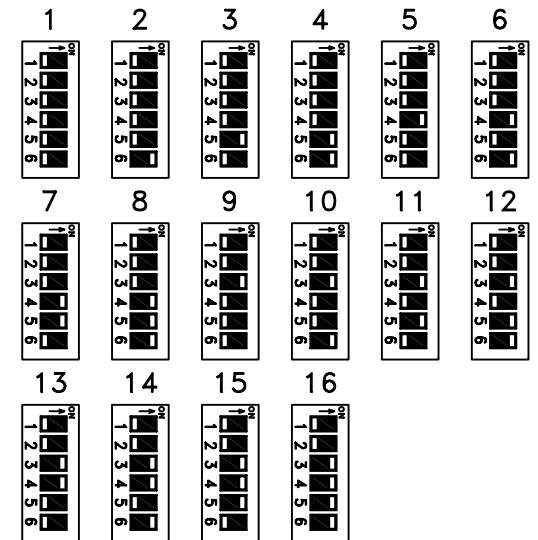
例：6番のみオン



DIPスイッチ構成

DIP	OFF(左側)	ON(右側)
1	通常時	ブート
2	任意のボーレート	9600
3-6	アドレス	

アドレス



LUTRON
ルートロン アスカ株式会社

H8P5-H48-JA
H8P5-JA

REVISION	1.1
RELEASED	2008.9.1
PAGE	3/5

承認 高橋 検図 細谷 作成 谷崎

ホームワークス 8シリーズ プロセッサ
仕様書

図4 プロセッサボード接続端子詳細

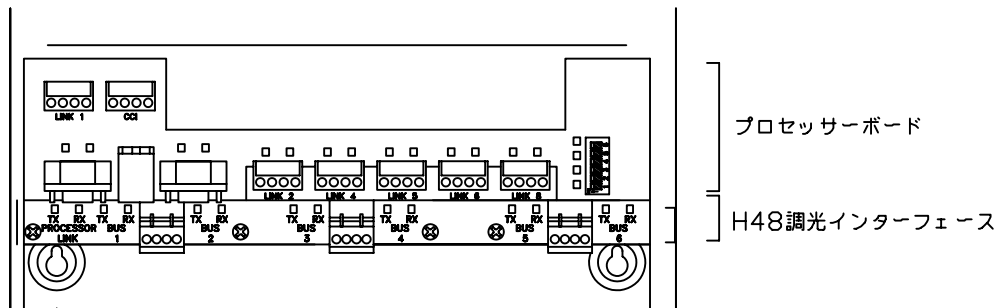
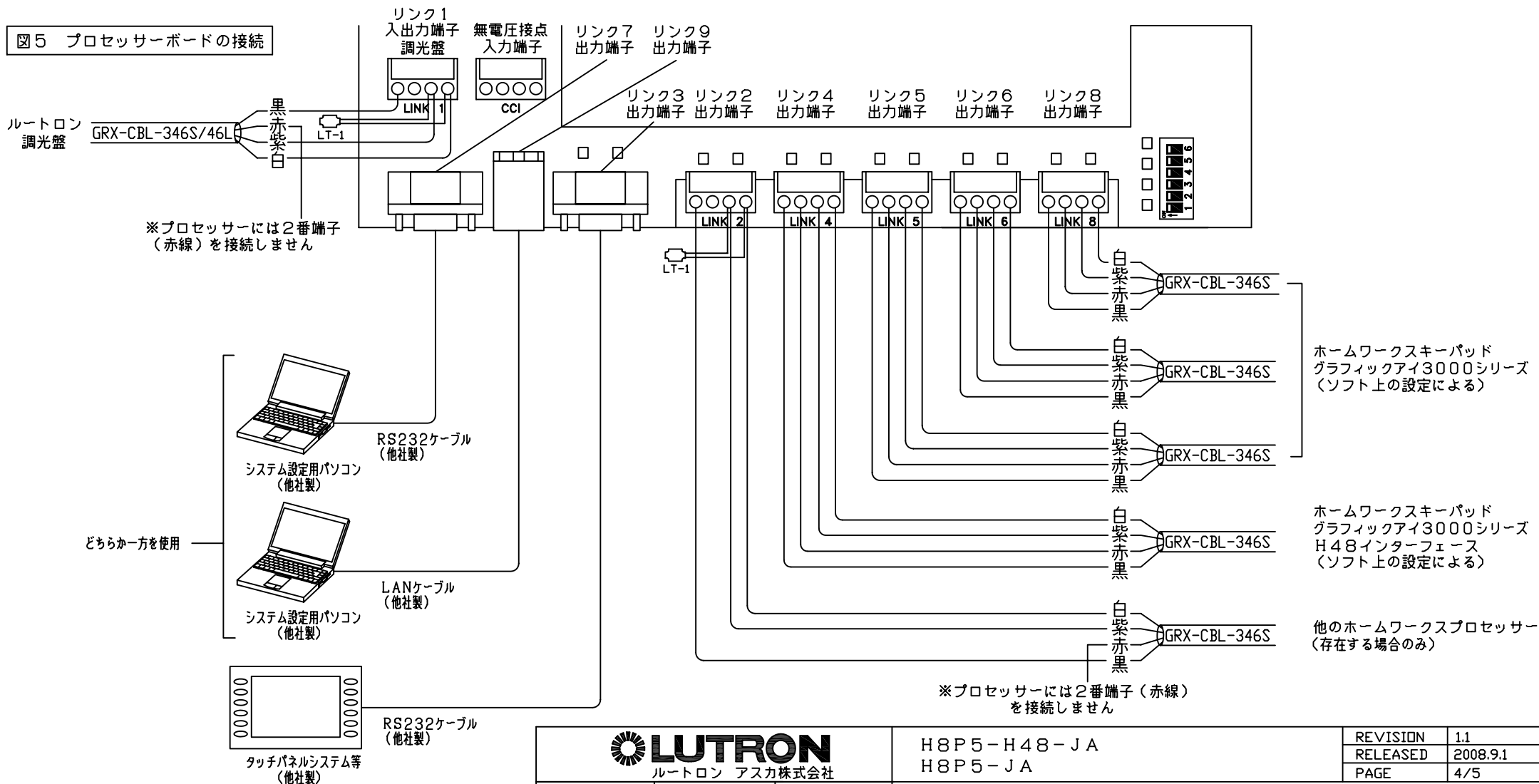


図5 プロセッサボードの接続




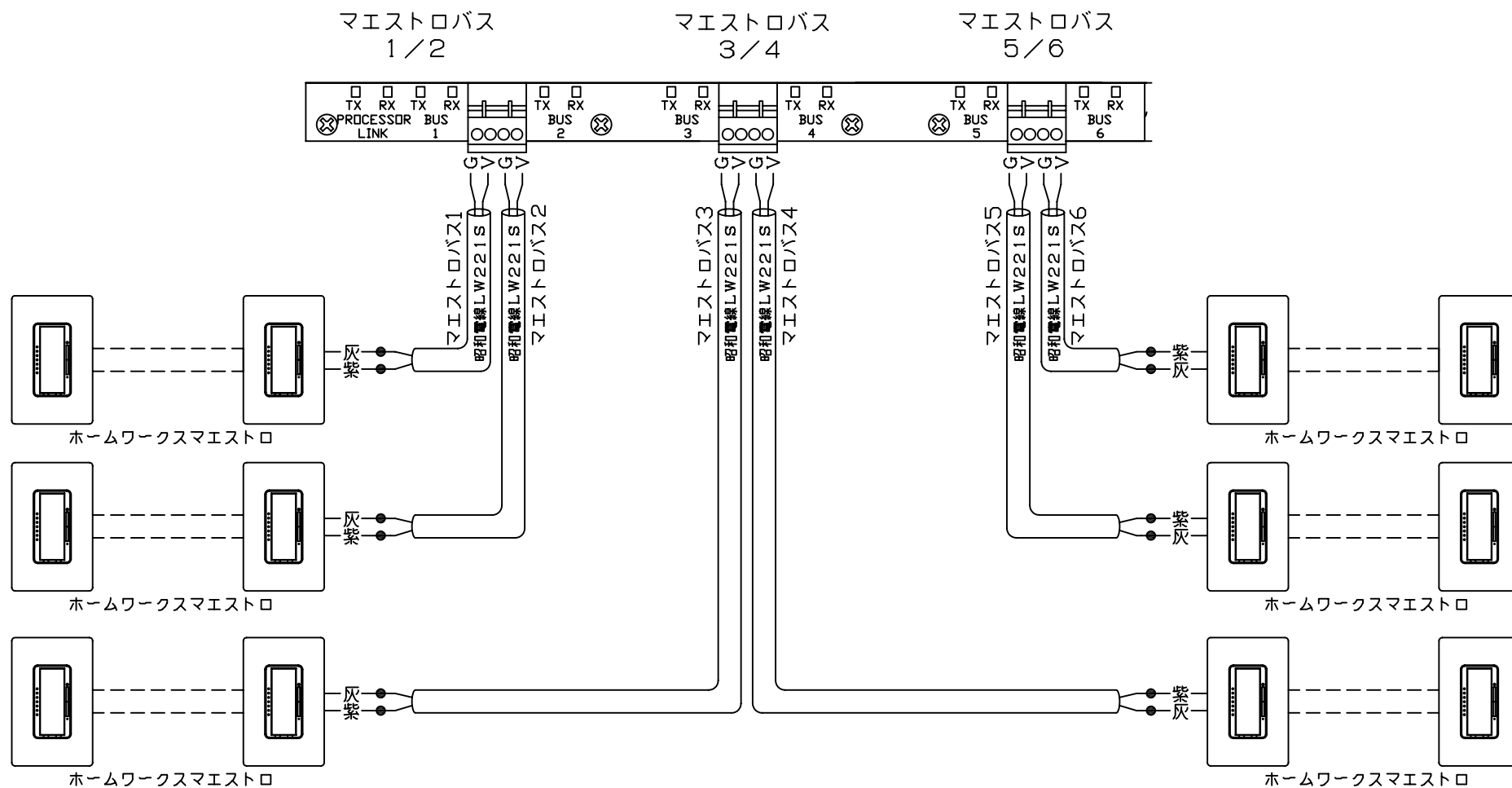
 ルートロン アスカ株式会社			REVISION	1.1		
			RELEASED	2008.9.1		
			PAGE	4/5		
承認	(細谷)	検閲	(北村)	作成	(谷崎)	ホームワークス 8シリーズ プロセッサ 各機器のデータ線接続

図6 H48調光インターフェースの接続

※H8P5-H48-JAのみ



※電線は昭和電線社製LW221Sまたはベルデン社製87761を使用してください。
 ※使用する電線の線色の指定はありませんが、マエストロの灰色線がプロセッサのG端子に、
 紫線がV端子に接続されるようにしてください。

 ルートロン アスカ株式会社		H8P5-H48-JA		REVISION	1.1
				RELEASED	2008.9.1
				PAGE	5/5
承認	高橋	検図	細谷	作成	谷崎
ホームワークス 8シリーズ プロセッサ H48インターフェース付 H48調光ハブの接続					